

平成 25 年度第 1 回社会福祉審議会議事録

- 日時：平成 25 年 5 月 31 日（金）午後 6 時から午後 7 時 30 分
- 場所：大和市保健福祉センター 5 階 501 会議室
- 参加：

〔出席委員〕 15 名

小野委員長、山岸副委員長、大谷委員、町田委員、高橋委員、金子委員、竹村委員、松井委員、北林委員、桐原委員、鈴木委員、和田委員、前川委員、阿部委員、山本委員

【次第】

1. 開 会
2. 委員の変更について
3. 議 題
 - (1) 第 3 期地域福祉計画 進捗状況について
 - (2) 第 4 期地域福祉計画 策定経過について
 - 市民向けアンケート
 - 自治会長向けアンケート
 - 関連データ
 - 策定スケジュール
4. その他
 - (1) 今後のスケジュールについて
 - (2) その他
5. 閉 会

以下、要旨記録

1. 開 会

事務局 平成 25 年度第 1 回社会福祉審議会を開催させていただきます。

2. 委員の変更について

役員改選等による新委員紹介

大谷仁委員、町田零二委員、竹村洋治郎委員

人事異動による事務局の担当変更

岩本次長、久保、玉田

3. 議題

小野委員長あいさつ

国の生活保護法、生活困窮者自立支援法の改正、子どもの貧困防止対策推進法の3つがセットになって改正される。また、生活保護費の生活補助額が、今年の8月から2015年4月まで3段階に分けて引き下げられ、推測最大値は10%迄と言われている。

改正されれば市やこの審議会の地域福祉計画にも影響が出てくるので、それぞれで対応していくことになる。

4. 議題

(1) 第3期地域福祉計画 進捗状況について (資料1) …内容は加筆点のみ説明

事務局 庁内の健康福祉部内の8つの課と社会福祉協議会を合わせた9の所属で検討委員会を設け、「第3期計画において9の所属が担当している仕事の守備範囲を明確すること」と「その事業をなるべく定量的になるべく数字で表せることは数字に表す」という2点の作業を4月と5月に行った。(資料1は作業結果)
前回の進捗状況に加筆した点のみ説明 (説明省略)

(2) 第4期地域福祉計画 策定経過について

・ 地域福祉に関する市民アンケート調査票(案)について (資料2)

事務局 調査の目的は、第4期地域福祉計画の策定の基礎資料を得ること。
郵送による発送・回収で無記名。対象者は20歳以上の市民2500名を住民基本台帳より無作為抽出。調査期間は平成6月16日～7月3日を予定。予定回収率は約1000通(40%)。

委員 問3「同居されている家族の構成員は」の設問の回答選択肢1.「本人」は、「同居者はなし」か、「本人のみ」にするべき。

事務局 再度検討したい。

委員 属性の問5、問6、問7について、後でクロス集計をするとのことだが、何を知りたいのか。例えば、問5一戸建てでも借家と持家に分け、分譲マンションとか賃貸マンションの違いなど、ここまで詳しく聞く必要があるのか。問6の「不自由なく暮らしている」とはどのような観点でみるのか。問7の「健康」と「ふつう」とどのように分けて考えるのか。問8の2.「介護が必要な高齢者がいる」の高齢者の年齢はいくつからと考えるのか。3.「介護が必要な障がい者(児)がいる」は、どこまで知りたいのか等、言葉等の整理が必要かと思われる。

事務局 属性でも単純な集計の部分と性別、お住まいの地区等のクロス集計を考えている。

委員 属性項目に上がっているところは重要で、クロスをするときちんとしたのが見えてくるものなので、よく考えた方が良くと思う。

委員長 健康状態や介護の質問は問 14「近所の人に支えてもらう」や問 19「助け合いとしてできそうなこと」とのクロスで影響する。

問 5 でも賃貸の人は地域に積極的でないなど、クロスで使えるだろう。

委員 20 歳以上が対象者となっているが、内容的に高齢者が対象の設問が多いので、重き高齢者に置いて対象者の年齢少し引き上げてよいのではないか。

事務局 地域福祉に対して若い人の意見も知りたいので 20 歳以上にした。

第 3 次の時のアンケートも 20 歳以上で行った。

委員 アンケートの母集団について、同じ世帯で複数回答というケースも場合によってもあり得るのか。同じ世帯に 2 通いくとかなり偏りができるように思う。

事務局 無作為抽出だが、同じ世帯に 2 通行くことはないようにしてある。

委員長 名簿順で連番は取らないようにしているので重ならないだろう。

委員 第 3 次福祉計画は H22 年に作られ、H23 年の大きな地震があり、地域の防災と地域の福祉が変わって来た。第 4 期計画に向けてその部分を入れている所はあるか。

事務局 第 4 次の計画の中で、災害時要援護者の事を取り上げたいと考えており、アンケートの問 27、28 の項目で災害に対してどう考えているか聞いている。

・ **地域福祉（地域の福祉活動）に関する自治会長向けアンケートについて（資料 3）**

事務局 収集期間については市民向け対象アンケートと同じ。

調査の目的の 1 点目は「地域が抱えている課題をあきらかにしていきたい」こと。自治会は、地域福祉を推進する重要な存在だが、近年、担い手不足に悩む一方、清掃、防犯に加え災害時の支援体制づくりの新たな取組にも力を注いでいる。そのような状況で、他にどのような課題を感じているのか伺いたい。

2 点目は、地域に住んでいる市民の方と自治会が供給しているサービスとのギャップを確認していきたい。

委員 域福祉計画を立てるアンケートなので⑬の質問を最初に出し「自治会長さんに地域福祉計画を作るに当たりご意見をお願いします。」とした方がよいのではないか。

事務局 アンケート本体の冒頭にお願いの依頼文を付けそこでご説明を入れる。

委員長 このアンケートは案で、「あなたの自治会は」等の言葉等を入れ丁寧に直すのか。

事務局 直します。

委員 ⑦の設問は社協に関してで、自治会長に対する質問ではない。例えば⑨など、地区社協や民生委員に該当する項目であり、自治会がここまで手を出すと大変なこ

とになってしまう。

事務局 ⑨は、自治会にやってもらいたいことではなく、自治会を含んだ地域の中で不足していると考えられることがあればという意味で聞いている。

委員 それは、行政に対してなのか、社協に対してなのか民生委員に対してなのか。自治会長に対しての質問で、漠然とした質問ではいけない。

このアンケートで自治会長の立場として答えるなら、⑦⑧⑨なら○をつけられるが、その他の安否確認や買い物、ゴミ出しの項目は、どこにアンケートを採ってどこに要請するのかが曖昧だと回答がずれてしまう。

事務局 表現についてももう少し細かく精査し、答える方にわかりやすいように考えたい。自治会向けアンケートについては、自治会事務局と調整したいと思う。

委員 ⑪の表現もよくない。行政が地域福祉計画を立てるのだから、民生委員や地区社協の連携を聞くのではなく、行政と民生委員や地区社協との関係を聞くべき。

委員 ⑧のボランティア活動の参加状況について、①の地区とのクロスである程度地区は限定されるので、年齢層とか性別等を聞いて、もう少し細かく吸い上げられると具体的に地域の色が出てくると思う。

委員長 今のご意見を含めて自治会の担当部署と練ってもらいたい。

委員 社協とか民生委員等に説明した上ですりあわせてアンケートを送すべき。

・ 資料4 関連データについて

事務局 訂正 [1] 平成 24 年 1 世帯当りの人数 (誤)2.23→ (正) 2.32

[1] について、人口の伸びに並行して世帯数も伸びている。1 世帯当りの人数が減少しているのは、核家族化の進展とひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増えている結果だと思われる。

[2] 過去 5 年間の高齢化率について、年々高齢化が進んでおり、人口の将来推計によると平成 30 年には 23.5%になっている。

[1] の人口は国勢調査のデータ、[2] は住民基本台帳のデータのため、数値にずれがある。今後は工夫をして検討をしていく。

[3] は国勢調査のデータ。単独世帯の割合が伸びているのは、将来的に社会的な孤立につながるとも考えられる。

今後も、策定作業に必要になりそうなデータを示していきたい。

委員 高齢化率が出ているが子どもの率も知りたい。

・ 参考資料 策定スケジュール

事務局 第 4 期の地域福祉計画を策定するために、地域福祉計画策定検討委員会を立ち上

げている。ここで検討したものを社会福祉審議会にかけて意見をいただきながら策定作業を進めていく。

例年の審議会の開催計画は2～3回だが、今年度は、地域福祉計画の策定という大きな目標があるので例年より開催回数が増えている。

2回目は7月26日、3回目は8月、4回目は9月～10月の間に予定させていただき、計画に関する基本理念、計画の体系、骨子案等について審議をしていただき、その後11月に諮問をさせていただき、来年2月に答申をいただき計画の確定とさせていただきます。

事前に配った資料に加えた内容は、5回目の諮問、7回目の答申の記載が加わった。4回目の日程が作業の進捗状況により流動的に対応させていただく。

4. その他

(1) 今後のスケジュールについて

7月26日（金）18：00 市保健福祉センター 501会議室

(2) その他

委員 差し替え資料には、紛らわしいので「差し替え」と明記してもらいたい。

委員 資料3の自治会長へのアンケートの件、6月15日が総会なので、なるべく早めに事務局に話をして一連の会長の了承を得てからアンケートをかけてもらいたい。

委員 スケジュール表で、計画骨子の作成にアンケートがあるのはわかるが、福祉団体の意見を汲むとか他に考えているのか。

事務局 今後、民生委員、地域包括支援センター、地区社協の方の意見を聞く予定。

委員 福祉団体の人の意見を聞くのは考えていないのか。福祉計画だから広く意見を聞いた方がよい。

事務局 参考にさせていただく。

5. 閉会

副委員長あいさつ

スケジュールの中で通常なら社会福祉審議会は年に3回位の議事が今年は7回あるので、皆さんの顔がたくさん見られるのではないかと思います。

地域福祉計画の最初の言葉の中に、地域の力、共助の力ということで、新しい協力、つながりをこれから作って計画を立てていくので、活発にご審議いただき良いものを作っていきたいので、よろしくお願ひしたい。

以 上